

教育課程編成・実施の方針（C P：カリキュラム・ポリシー）

|      |  |  |   |   |  |  |  |
|------|--|--|---|---|--|--|--|
| 全学CP | 建学の精神及び教育理念に基づく卒業認定・学位授与に関する方針（D P）に示す人材を確実に育成していくため、教育方針をもとに以下により教育課程を編成していく。   |  |   |   |  |  |  |
|      | 1. 学生が幅広い視野をもって学科目的に沿った主体的な学びが行えるよう、その基盤づくりとして教養教育とともにキャリア教育も含む総合的な内容からなる教養科目を開講し、適切な選択や受講ができるようにする。   |  |   |   |  |  |  |
|      | 2. 学生が専門的な知識と技能を体系的に学べるよう、各学科に専門に関する科目を基礎から応用までの学修段階に配慮した順序と内容で開講し、教養とともに専門分野に係る「知識・理解」「思考・判断・表現」「技能」「関心・意欲・態度」の伸長と定着を目指せるようにする。   |  |   |   |  |  |  |
|      | 3. 学生が教養科目と専門に関する科目を学修するにあたっては、主体的な学びを目指す学修活動を中心に、科目の特性に応じて、地域社会と結びついた実践的な活動、環境を重視し、社会性と協調性、その基盤となる自律性と品性などを身につけていく活動に取り組んでいけるようにし、これに配慮して各科目を配列する。  |  |   |   |  |  |  |
|      | 4. 学生が科目を受講するにあたっては、各科目の目標とD Pとのつながりを示したカリキュラム・マップと、教育課程における各科目の関連や順序を示したカリキュラム・ツリーを活用して、教育課程とその内容等を確実に理解しながら学修に臨めるようにする。  |  |   |   |  |  |  |
|      |  |  |   |   |  | 教養教育<br><br>(教養科目)   | キャリア教育   |
|      | 専門教育   |  |   |   |  |  |  |
|      | 幼児教育学科   | デザイン美術学科   | 音楽総合学科  | 歯科衛生学科  | 看護学科   |  |  |
| 学科CP | 豊かな教養と人間性を備え、子どもへの深い愛情を育むとともに教育・保育における専門的な知識と技能を身につけ、これらと実習や保育実務研修との往還で、よりいっそう社会が必要とする保育者として、教育・保育と子育て支援に携わることでできる人材の育成を目的とし、教育課程を編成する。<br>1. 豊かな人間性、コミュニケーション能力、社会性を育むための教養教育を実施する。<br>2. 子どもの健やかな成長、幸せのために、子ども理解を基に援助できる能力や、子育て支援に係わる能力を育成する専門教育を実施する。<br>3. 実習や保育実務研修、子育てサロンへの参画など実践現場での学びと、関連する大学での学びとの往還によって、保育実践で求められる実務能力や社会人基礎力など保育力が身につく教育を実施する。<br>4. 保育のスペシャリストとして、社会の諸問題を解決するための知識・技能・思考力や、自らのものつ能力を伸ばすことのできる専修科目を設ける。 | 生涯にわたる素養として「美術」を感じ、更に自らを表現できる技能を定着させたい。その目標の下、美術の全体像を見失うことなく、基礎から応用発展へと繋がる科目及び科目群相互の連携を意図し、教育課程を編成する。<br>1. 豊かな人間性、コミュニケーション能力、社会性を育むための教養教育を実施する。<br>2. 一年次前期に基礎領域全般を学び、理論と実技を通し関心と理解を深める。<br>3. 描写系科目を造形表現の基本とし、関連科目を充実させ自己の表現力と技術力を向上させる。<br>4. 学生はどの授業でも受講でき、多様性のある豊かな受講計画が考えられる。<br>5. 手を動かす、手で作る、手で描くことを基本とするも、コンピュータ使用における表現性、世界観を重視し、どの授業も学生は受講でき、それぞれの「美術」を考える。<br>6. 各科目担当者は学生との対話に努め、能力に応じた個別指導を行い、学生一人ひとりの成長を支援する。また社会との関わり大切さ、必要性を考え、地域との連携を行う。 | 音楽の専門知識と技術を修得し、さらには音楽を通しての豊かな教養と人間性を養い、音楽活動を通じて人とコミュニケーションをとることができる人材を育成するために、次のような教育課程を編成する。<br>1. 豊かな人間性、コミュニケーション能力、社会性を育むための教養教育を実施する。<br>2. 音楽を通して人間的な成長と専門的な知識と技術を学ぶための基礎教育と専門教育を実施する。<br>3. 地域社会の音楽文化の向上に貢献し、地域で求められる活動を学び推進させるために充実した学外演奏や学外ボランティア活動、実習を実施する。<br>4. 各コース担当者は授業時間内外で学生との対話に努め、能力に応じた指導を行い、個々の成長を支援する。<br>5. 学生は自ら専攻するコース以外でも選択可能な他コースの授業を受講することができ、広い知識を身につけることができる。<br>6. 音楽関係、心理関係の資格取得を支援する教育を実施する。 | 豊かな教養と人間性を備え、口腔保健・医療・福祉の立場から人々の健康で幸せな生活の実現のため、専門的知識および技術をもって広く社会貢献し、さらに他医療職種とも連携を取ったチーム医療を実践できる人材を育成するため、次のような教育課程を編成する。<br>1. 豊かな人間性、コミュニケーション能力、社会性を育むための教養教育を実施する。<br>2. すべてのライフステージにおける対象者の口腔の健康支援ができるための基礎教育と専門教育を実施する。<br>3. チーム歯科医療の一員として患者のニーズに応え信頼される医療人となるため、全身状態の理解・把握を目指した臨床医学教育を実施する。<br>4. 専門化する歯科医療に対応し、さらに地域との連携や地域貢献を推進していく能力を身につけるため、育成専修クラスを含めた臨床・臨地実習等を実施する。<br>5. 歯科衛生士の国家資格取得を支援するための教育を実施する。 | 豊かな教養と高い倫理観に裏づけされた看護の専門的知識・技術を身につけ、変化する社会のニーズに対応し広く貢献できる人材を育成するために、次のような教育課程を編成する。<br>1. 豊かな人間性、コミュニケーション能力、社会性を育むための教養教育を実施する。<br>2. 健康のあらゆるレベルにある対象者に適切な看護を実施できるための基礎教育と専門教育を実施する。<br>3. 講義や演習で学んだことを臨床現場で統合し、対象に応じた看護を実施できる能力を身につけるとともに、地域との連携、地域貢献を推進していくための素地を身につけるために臨地実習を実施する。<br>4. 看護専門職として自らの興味・関心に沿って探求する研究的態度と自己学習できる主体性・自律性を高めるために設定した発展科目を履修する。また、講義等の展開においてはグループワーク、討論、ゼミナール形式等を効果的に導入する。<br>5. 国家資格取得を支援する教育を実施する。 | 全学科に共通する教養教育の中心として教養科目を開講する。教養科目を「教養基礎」と「社会人基礎」の2つに分類し、学生による適切な選択ならびに履修により、めざす力等の確実な定着や涵養に向けた学びのカリキュラムを次のとおり編成する。<br>1. 「教養基礎」をさらに「人文」「社会」「自然」「総合」の4つに区分し、主に専門分野の学びの基盤、人間の在り方や生き方、文化や社会と環境についての学びを中心に必要な科目を開講する。<br>2. 「社会人基礎」では主に地域社会で活躍する社会人に求められる基本及び教養教育全体の基礎についての学びを中心に必要な科目を開講する。<br>3. これらの分類および区分を活用し、適切な選択と履修で総合的な教養の涵養が図れるように指導と支援を行う。 | 教養教育や専門教育の学修を通じて、または連動性を図りながら、幅広く社会の仕組みを理解し、働くことに対する意識の醸成を図り、社会人として身につけるべき基礎的、汎用的な能力を育成するためのカリキュラムを次のとおり編成する。<br>1. キャリア意識の醸成の観点から、「働くこと」に対する気づきを啓発するため、「自己理解」「他者理解」「職業観の醸成」を体系的に配置し、人間関係の形成、社会形成能力を醸成する。<br>2. キャリア形成の観点から、社会的・職業的自立に必要な基盤となる能力等を育成する体系的なキャリア教育カリキュラムを配置し、キャリアプランニング能力と課題対応能力を醸成する。<br>3. 学生一人ひとりの発達状況の的確な把握ときめ細かな支援のために、気づきを促し、意欲・態度を育む「勤労観・職業観」、スキルを身につけ能力・態度を育む「基礎的・汎用的能力」を醸成するキャリア教育に関する科目を他の教養科目、専門科目との連動性が図れるように配置する。 |